

解 答 速 報

関西医科大学

一般選抜前期

生物

I

- (1) D (2) C (3) 38個 (4) A, D, E
(5) A, C, D, E (6) A, C, D (7) 1200匹
(8) 1番目:C 2番目:B 3番目:F

II

問1 体内時計 (問題文に「計時機構」とあるので、「概日リズム(サーカディアンリズム)」は機構ではなく現象であると判断し、「体内時計」を正解とした。)

問2 A

問3 異数体

問4 (1) 実験1:B 実験2:A 実験3:C
(2) 実験4:C, E, H 実験5:A, F, I

問5 D (オオマツヨイグサの花芽形成に必要な「長日刺激」が具体的に何時間であるのかが明記されていないが、一般的な長日植物と同様と仮定した。)

問6 3, 5 E

III

問1 (1) カイコ, 絹 (2) B, D, G

問2 A, D, F

問3 A, E

問4 B, E

問5 (1) 5齢幼虫のままである。
(2) 前半部、後半部ともに、さなぎになる。

問6 (黄色:白色=) 3:13

問7 13.9%

IV

- 問1 ア 脊索 イ 体節
 問2 う, え
 問3 い, a
 問4 (1) ③:あ ④:う
 (2) (i) S:あ T:い (ii) S:え T:き
 (3) き, い, え, あ
 問5 B 血糖濃度を低下させる。
 問6 い, う, か

～講評～

得点目標は7割～7割5分。

大問Iは例年通り生物基礎および生物の全範囲からの小問集合であった。多くは標準的な知識を問うものであったが、一部でかなり細かな知識も問われた。

大問IIは植物の環境応答についての考察を主題としていたが、分野横断的に知識問題も複数含まれていた。考察の実験条件などは典型的なものであったが、情報の整頓や考察文の妥当性の検討に手古摺った受験生もいただろう。

大問IIIは昆虫の変態に関する実験考察と形質に関する遺伝問題であった。実験数の多い問題であったが、ロジック自体は比較的単純であったので、情報を丁寧に整頓できれば正解にたどり着くことはそれほど難しくなかった。遺伝の問題は、典型的な抑制遺伝と組換え価の計算であり、得点しやすかっただろう。

大問IVは発生と内分泌をテーマとしており、知識と実験考察の両方が同程度で含まれていた。実験考察は考慮すべき要素が多く、文中のヒントを丁寧に拾い上げて、それらの関係性を正確に俯瞰する必要があったため、時間との勝負となったと思われる。内分泌に関する知識問題は標準的で得点しやすかったため、それらの問題を先に解き切ってから考察に取り掛かるとよかっただろう。



メルマガ登録（無料）またはLINE公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
 メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



<p>渋谷校</p> <p>☎ 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p>名古屋校</p> <p>☎ 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p>大阪校</p> <p>☎ 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3 4 江坂第1ビル 3F</p>
<p>個別専門館 麹町校</p> <p>TEL : 050-1809-4751 東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p>ビッグバン京都校</p> <p>TEL : 075-746-4985 京都市下京区下諏訪町 360</p>	<p>医特塾 阿佐谷本校</p> <p>TEL : 03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>